

全国制覇を狙う一関の剣士たちの素顔



佐藤 龍
Sato Ryu

一関二高・(1年)

男子・フルーレ優勝

小学1年からフェンシングをやっています。剣先のコントロールが自慢。とっさの反応がピンチをチャンスに変えます。強い意志を持って確実に試合をものにします。



勝浦 花菜
Katsuura Kana

一関二高・(3年)

女子・エペ優勝

体験入部で見た試合がかっこよくて高校から始めたフェンシング。全国では迷いなく思い切りよく戦いたい。そして試合を楽しみたいです。目標は最低でもベスト8です。



佐々木 功喜
Sasaki Koki

一関二高・(3年)

男子・エペ優勝/フルーレ2位

持ち味はフットワーク。ダンスのような細かいステップで敵を惑わして一本を取ります。攻撃の精度を上げて自分の流れをつくり、両種目ベスト8以上を目指します。



菅原 知
Sugawara Tomo

一関二高・(3年)

女子・サーブル優勝

足の使い方、手と足のバランスなど、技術面を強化して全国の舞台に臨みたい。全力を尽くして自己ベストを出せるように、気持ちを強く持って戦います。



千葉 俊
Chiba Syun

一関二高・(3年)

男子・サーブル優勝

相手に応じた試合展開を考えています。フットワークを生かしてプレッシャーを与え、カウンターを狙うのが得意。声を出して自らの闘争心を高め、全国制覇を狙います。



千葉 朱夏
Chiba Akane

一関一高・(3年)

女子・フルーレ2位

6月の東北大会では初優勝。自信がつかえました。全国では、相手の動きをよく見て、自分のペースに持ち込みたい。昨年は8位。今年は優勝を狙います。



小川 千尋
Ogawa Chihiro

一関学院・(3年)

女子・フルーレ優勝

県高校総体での優勝は初めて。リードされても落ち着いて試合ができ、自分でも成長したと実感しています。インターハイ出場は2年ぶり。8強入りが目標です。



**一関学院
フェンシング同好会
43年ぶりに県王者に**

6月4日に行われた県高校総体で43年ぶりに団体優勝。選手は3人。全国大会では、持ち前のチームワークで8強を目指す。



**一関二高フェンシング部
王者の貫禄。32度目の団体優勝**

第68回県高校総体フェンシング男子の決勝戦は6月4日、一関二高の体育館で行われ、一関二高が北上翔南に5-1で勝ち、32度目の優勝、3連覇を果たした。同校は個人の3種目も完全制覇。王者の貫禄を見せつけた。

特集 熱闘サマナー 2016

市内の児童生徒が快挙を成し遂げた。そんな知らせが続々と届いている。スポーツや文化活動で地方大会を勝ち抜き、一関から全国へ挑む選手たち。彼らのひたむきな思いが、一関の夏をさらに盛り上げる。ヒーロー&ヒロインを追った。



一関一高美術部 油絵を全国に出展

佐々木唯奈さん(3年)は昨年11月、盛岡市で行われた県高等学校総合文化祭に油絵(*)を出品し、特賞に輝いた。県代表作品として、8月1日から広島県広島市で開かれる全国高等学校総合文化祭の美術工芸部門に出展する。

*作品名は「夢のあと」。大きさは50号。学校の近くの線路を写実的に描いた



千厩高校箏曲部 4回目の全国挑戦

箏曲は、日本の伝統楽器「箏」を華麗に奏でる競技。昨年10月に盛岡市で行われた県大会(*)で優秀賞に輝き、全国への出場権を得た。8月1、2日に広島県福山市で開かれる全国高等学校総合文化祭の日本音楽部門に、部員18人で挑む。

*第38回岩手県高等学校総合文化祭



一関卓心クラブ 所属の3人が全国へ

5月に行われた県予選会(*)で厳美小6年の遠藤唯夢くんがホープスの部で2位に、同4年の遠藤唯桜花さんと同3年の菅原菜乃春さんがカブの部で3位に入賞。7月29日から兵庫県神戸市で開かれる全日本卓球選手権大会へ出場する。

*2016年度県選手権兼全農杯全日本選手権ホープス・カブ・バンビの部予選会。ホープスの部は6年生以下、カブの部は4年生以下



一関一高競技歌留多部 ベスト8目指す

1対1で50枚の札を取り合う競技かるた。5月に盛岡市で行われた県選手権(*)では、一関一高勢が1位~7位を独占。8月1、2日に広島県呉市で開かれる全国高等学校総合文化祭の小倉百人一首かるた部門に出場し、上位を狙う。

*第23回岩手県高校生かるた選手権大会